

科目名	レクリエーション演習Ⅱ						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
演習	選択	1	2	後期			
担当者名	弘中 陽子	関連する資格	レクリエーション・インストラクター資格必修 公認障がい者指導員資格必修 保育士資格選択				
<b>授業概要</b> レクリエーション演習Ⅰでの学びを踏まえたうえで、想定した対象者への実践を通してレクリエーション支援者としての基本技術ならびに支援方法を学ぶ。							
<b>到達目標</b> ○対象者に応じた支援の方法を修得する。 ○対象者に応じたレクリエーション活動のアレンジの方法について理解する。 ○対象者・目的に応じた様々なレクリエーション活動を活用した指導案が作成できる。			<b>成績評価方法</b> ・遊びのノート ・グループワーク ・授業態度・参加度 (学外活動での取り組み等も含む)				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート	○	○	○	○			50
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度	○	○	○	○	○	○	10
プレゼンテーション							
グループワーク	○	○	○	○	○		40
演習							
実習							
授業計画と概要				アクティブラーニング			
1) オリエンテーション(授業概要、進め方、評価方法等ガイダンス)							
2) 対象者に合わせた活動のアレンジ方法①							
3) 対象者に合わせた活動のアレンジ方法②				グループワーク			
4) 対象者に合わせた活動のアレンジ方法③				グループワーク			

5) 乳幼児を想定したレクリエーション支援の体験①	
6) 乳幼児を想定したレクリエーション支援の体験②	
7) 児童・障がい児（者）を想定したレクリエーション支援の体験① (パラスポーツレクリエーションへの参加)	
8) 児童・障がい児（者）を想定したレクリエーション支援の体験② (パラスポーツレクリエーションへの参加)	
9) 地域の子どもたちを想定したレクリエーション活動の企画① (レクリエーション活動のアレンジ)	グループワーク
10) 地域の子どもたちを想定したレクリエーション活動の企画② (レクリエーション活動のアレンジ)	グループワーク
11) 地域の子どもたちを想定したレクリエーション活動の企画③	グループワーク
12) 企画したレクリエーション活動の実践① (スポーツレクリエーション大会への参加)	グループワーク
13) 企画したレクリエーション活動の実践② (スポーツレクリエーション大会への参加)	グループワーク
14) 企画したレクリエーション活動のふりかえり	グループワーク
15) レクリエーション支援者としての今後の課題	
授業外学習	
<p>・地域で行われる活動に積極的に参加し、できるだけ地域の子どもや障がい児(者)と関わる機会をもちましよう。</p>	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
<p>・資料配布</p> <p>・テキスト：「レクリエーション支援の基礎 楽しさ・心地よさを活かす理論と技術」（日本レクリエーション協会）※レク・インストラクター資格取得希望者のみ</p>	<p>レクリエーション概論</p> <p>レクリエーション演習Ⅰ</p> <p>レクリエーション実習</p>
備考	
<p>・運動の出来る服装、室内シューズ、髪は束ねる等レクリエーション支援者として、ふさわしい身だしなみを各自心がけること。</p> <p>・遊びのノートを1冊作成します。詳細は、授業内で説明します。尚、このノートは評価対象です。</p> <p>【オフィスアワー】 弘中 陽子 hironaka@ube-c.ac.jp</p>	